

# 高台から全方位を見渡す 3層プランの住まい。 変化に富んだ空間が魅力に

こだわりの  
住まい  
づくり

新築福

周囲を見渡す高台の敷地を生かすため、3層の建物を計画。戸外の眺めを大胆に切り取り光と風を効果的に取り込む窓と空間の構成はシンプルかつ効果的に。変化に富んだ快適な住まいになりました。写真・中優樹



上/高低差のある高台という条件を生かし、1階のLDKは眺めのいい場所に。敷地形状を反映させて展望台のような景色を取り入れました 下/地階は駐車場と玄関。2種のガルバリウム鋼板を張り分けてメリハリのついた外観に



**北** 北海道函館市の高台に立つS邸。北海道ハウス様の三箇透次長が自ら設計に取り組み、三箇次長が自ら設計に取り組み、様々な意匠や工夫がプランに盛り込まれました。

そのポイントのひとつとなったのが、道路面から最大3mにもなる敷地の高低差です。コストを抑えるためにも掘削は最小限にとどめ、傾斜を生かす方向で計画が検討されました。その結果、地階はLDKとサニタリー、2階に個室という3層の構成に。

「この敷地の最大のメリットである高台からの展望をどう取り込むか、が設計の主要なテーマになりました」と三箇次長。斜めに切られた不整形の敷地に合わせて、平面計画は台形に。各層とも眺めのいい北西側と日当たりのいい南西側にそれぞれ開口部を多く確保することで、敷地のポテンシャルを十分に引き出すことが意図されました。

地階では、基礎を兼ねた駐車スペースを計画。道路までの地面も舗装して出入りのしやすい状態にしました。「地階ではどうしても暗くなりがちです。階段の上部に

北海道函館市  
S邸

第21回TH大賞(新築部門)  
地域最優秀賞受賞作品

北海道ハウス株式会社 様

代表取締役/小林市男様  
住所/北海道函館市美原1-3-5  
<http://hokkaidohouse.cbiz.co.jp/>

- 設立/1994年
- 従業員/8名
- 年間新築棟数/25棟
- 内覧会回数/年20回
- 平均坪単価/40~50万円
- 2008年TH友の会入会
- 施工物件の特徴

デザイン



三箇透次長





③中庭を眺めるピクチャーウィンドウが設けられたリビング ④シンボルツリーが植えられた中庭。リビングと同じタイルを壁に張り、内外の連続感を演出しました ⑤1階と2階は吹き抜けてひと続きに。梁を表して空間を引き締めました



①玄関ホールと階段は一体に。上部には中庭に向けた窓があり、明るい光が取り込まれています ②駐車場の奥にある玄関。下足収納、ベンチがシンプルに造り付けられました。

こだわりの  
住まい  
づくり  
S邸  
北海道函館市  
新築編

縦への広がりを生かして  
奥行きのある深い空間構成に。  
光と風も抜けていきます

窓をとって、そこからの光を玄関ホールに落とすようにしました」と三箇次長。  
その光に誘われるように1階へ上がると、突き当りにはリビングへ、右手にはキッチンへと続く2方向に引き戸があります。「複数の生活動線を用意しました。家事が目的のときはキッチンや洗面室、脱衣室、家事室へ直接行くことができます」と三箇次長は説明します。北側にそれらの空間をまとめて家事の効率を高める一方で、南側には家族の集まるリビングとダイニングのスペースを広く確保しました。  
リビングの脇にはテラスへ続く掃き出し窓、ダイニングの対面には大きなピクチャーウィンドウが設けられました。壁面に沿って広がるパノラマ状の視界には、函館の町並みや空がダイナミックに取り込まれ、まさに絶景。この家を訪れる誰もが感嘆の声をもらすといえます。



## ■概要

構造/木造軸組工法  
規模/地上2階建て+地階  
延床面積/217.45㎡  
地階/59.63㎡  
1階/94.49㎡  
2階/63.33㎡

■外部仕上げ  
屋根/ガルバリウム鋼板  
外壁/ガルバリウム鋼板、ガルスパン  
ポーチ・駐車スペース/インターロッキング

■地階内部仕上げ  
玄関  
土間/フロアタイル  
床/フロアタイル  
壁/クロス  
天井/クロス

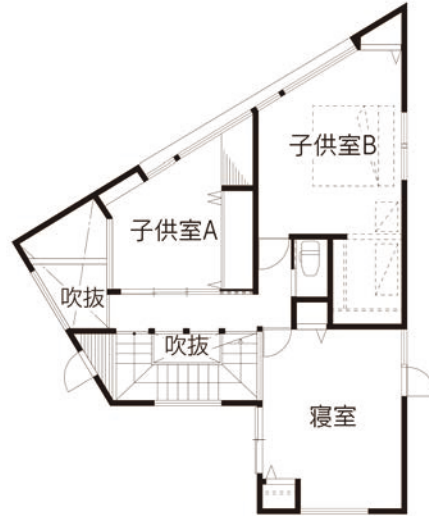
■1階内部仕上げ  
LDK(居室共通)  
床/自然塗料フローリング  
壁/クロス、タイル  
天井/クロス

和室  
床/畳  
壁/珪藻土  
天井/クロス

キッチン/クレディア(トステム)  
浴室/ラ・バステイスト(INAX)  
洗面台/サンレソナRS(サンウエーブ)  
トイレ/サティス(INAX)

■2階内部仕上げ  
子供室(居室共通)  
床/木質フローア  
壁/クロス  
天井/クロス

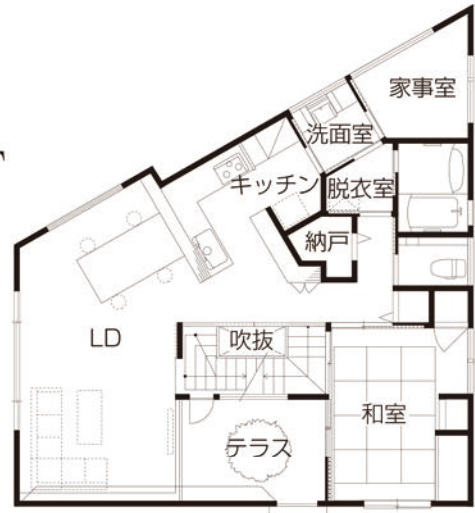
2F



戸外の開放感を  
取り込むテラス

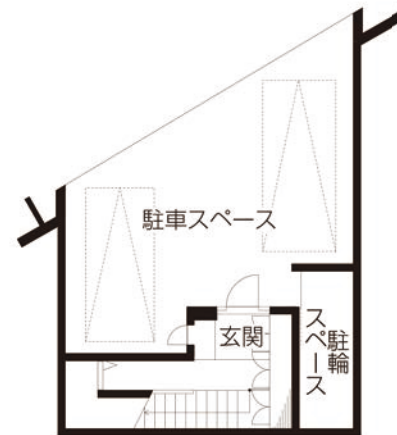
1階のリビングの外にはテラスが設けられました。日当たりのいい南西の景色を取り込むポイントになっています。

1F



外の景色を美しく切り取る  
多種多様な開口部は  
暮らしに潤いをもたらします

BF



子供室、寝室などが配された2階とはダイニング上部の吹き抜けでつながっています。「子供たちの気配も伝わってきます」と奥様の生活の場は3層に分かれています。階段や吹き抜けによってほどよく空間が連続しており、家族の一体感を味わえます。

2階に設けられた個室も、それぞれ目的や用途に応じた開口部が配されて開放感に満ちた場所になりました。特に子供室は、引き戸を閉めれば独立した部屋になりますが、普段は開け放って階段や廊下とひと続きの空間として使っています。

どこまでもつながる内と外、そして空間と動線。この家には家族が伸びやかにかつ快適に暮らすために大事な要素がいっぱいに詰まっています。



方位、用途に合わせた  
開口部の配置

1階LDKではテラスに続く掃き出し窓、2階の寝室では落ち着くスリット窓、子供室では景観を切り取る腰上窓と、目的に合わせて適切に開口部を配置しています。



階段を取り込んだ  
立体的な空間構成

階段にはそれぞれのフロアに光と風を供給する役割があります。3層を貫く吹き抜けのような立体的な空間が、室内に広がりとお行きを効果的に加えることに。

また、南東には中庭も設けられました。シンボルツリーが植えられ、リビングのソファからは常にみずみずしい緑の眺めが得られることに。

「間取りの中央にキッチンがあるので、家事をこなすのにも、リビングでくつろぐのにも短い動線で移動できてとても便利です。眼下の町並みや中庭の緑などの眺めにもいつも癒されていますね」と奥様にも好評です。



地場材の道南杉を  
アピール

北海道ハウス様が地場材として多用しているのが道南杉。2階では吹き抜けに面した通路に並べるかのように表しに。独特の温もりある色味、質感がアピールされています。



こだわりの  
住まい  
づくり  
S邸  
北海道南幌市  
新築  
福